

令和元年度「学校評価」中間評価に係る報告

磐城高等学校長 阿部 武彦

1 評価と改善

この学校評価に係るアンケート調査の目的は、本校の教育方針や学校経営・運営ビジョンに掲げる具体的な教育活動などについて、その達成状況を客観的に評価することにより、本校教育の活性化と質の向上に役立てることです。

このことを踏まえ、学校経営・運営ビジョンの何が、どのように達成されているのか、また、取り組むべき課題は何か等について、一層明らかにするため、昨年度に引き続き、学校経営・運営ビジョンに掲げる教育活動と連動した項目内容を設定してアンケートを行いました。

今回の調査結果から示された課題について、その原因と具体的な解決策を探り、本校生に高い志を持って可能性に挑戦させ、知・徳・体の調和の取れた人間力を培うよう、学校づくりに努めて参りたいと考えております。

2 評価者及び回答者

評価者		中間評価		
		対象数	回答数	割合（昨年度）
教職員		54	54	100%（100%）
職員以外	生徒	871	851	97.7%（97.0%）
	保護者	220	214	97.3%（98.3%）

* アンケート調査では、保護者は各クラス10名の抽出調査（全校生の約25%）、生徒・教職員は全員を対象としております。アンケート項目は、これまで同様、三者共通の11項目とそれぞれの評価者ごとの4項目に分けております。

3 評価基準

(1) アンケート調査の評価基準

評価	4	3	2	1	0
評価基準	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない

(2) アンケート調査のまとめ評価基準

評価	◎	○	空白
評価基準	65%以上	45%以上～65%未満	45%未満

* 評価基準(1)については、「普通」の評価をさけて肯定的か否定的かの判断がつくように評価基準を設定しました。(2)については、生徒・保護者・教職員の全体的傾向を把握して三者の認識等の違いを比較検討できるようにしました。評価は、(1)の4・3の合計を評価基準としています。

4 集計結果

「自ら学ぶ意欲の喚起」、「進路情報の提供」、「部活動の活性化」、「服装・挨拶」、「交通事故、特別指導の絶無」、「学校の情報発信」については、昨年度に引き続き、保護者、生徒、教員いずれからも高い評価でした。このような評価が継続していくよう、今後とも取り組んで参ります。

これに対して、「講義室の土日開放日の活用」については、保護者、生徒、教員いずれからも改善・工夫すべきとの評価でした。模擬試験等の日程の関係上夏休み前は4回のみしか実施できなかったため、評価が低かったと思われま。

「学習と部活動とのバランス」に関しては、生徒、教員ともに4割以上が低い評価でした。部活動が活発である本校においては、学習と部活動の両立は常に大きな課題です。学校経営・運営ビジョンにおいて「主体的学習習慣の確立」、「生徒の学習時間の確保と保障」を掲げ、午後7時の活動終了、午後7時30分下校を指導しておりますので、御家庭でも授業中心の家庭学習が最も重要であるとの御理解をお願いいたします。

「欠席・遅刻の予防指導」については、生徒と教員との評価に差が生じています。学校としても、生徒の生活面については、御家庭との連絡や意思疎通を一層密に図って参りますので、御理解・御協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。御心配な点がございましたら遠慮なく学校に相談してください。

「読書時間の確保」については、生徒、教員から改善・工夫すべきとの評価でした。学校経営・運営ビジョンにおいて「学習指導と連携した読書指導の推進」（1ヶ月に必ず一冊を読む）を掲げておりますので、学習時間の確保とともに「読書時間の確保」についても指導の充実を図っていきたくと考えております。

多くの保護者の皆様からは、「いつでも相談できる先生がいる。進学するための環境が整っている。」との回答をいただいております。しかし、本校では、このような評価に甘んじることなく、学校評価を通して教育活動の状況を客観的に把握するとともに、生徒がさらに充実した高校生活を送れるための指導の改善・充実、地域に開かれた学校づくりに努めて参りますので、今後とも御理解をお願いいたします。

令和元年度学校評価アンケート共通項目結果(中間)

「そう思う・少し思う」の合計 65%以上 ◎ 45%以上65%未満 ○ 45%未満 無印

No	対象	昨年度	今年度	評価内容
1	生徒	◎	◎	磐城高校は生徒が自ら学ぶ意欲を高めるための工夫をしている。
	保護者	◎	◎	磐城高校は生徒が自ら学ぶ意欲を高めるための工夫をしている。
	教員	◎	◎	磐城高校は生徒が自ら学ぶ意欲を高めるための工夫をしている。
2	生徒	○	○	私は学習と部活動に割かれる時間のバランスがよく、充実した生活を送っている。
	保護者	○	○	子どもは学習と部活動に割かれる時間のバランスがよく、充実した生活を送っている。
	教員	○	○	生徒は学習と部活動に割かれる時間のバランスがよく、充実した生活を送っている。
3	生徒			私は講義室の土日開放を積極的に活用することで学習時間が増えている。
	保護者			子どもは講義室の土日開放を積極的に活用することで学習時間が増えている。
	教員			生徒は講義室の土日開放を積極的に活用することで学習時間が増えている。
4	生徒	◎	◎	磐城高校は二者面談や三者面談等を通して進路相談や情報提供を適切に行っている。
	保護者	◎	◎	磐城高校は二者面談や三者面談等を通して進路相談や情報提供を適切に行っている。
	教員	◎	◎	磐城高校は二者面談や三者面談等を通して進路相談や情報提供を適切に行っている。
5	生徒	◎	◎	磐城高校は多くの生徒が部活動に参加し、全国大会に出場することを目指して熱心に活動し実績をあげている。
	保護者	◎	◎	磐城高校は多くの生徒が部活動に参加し、全国大会に出場することを目指して熱心に活動し実績をあげている。
	教員	◎	◎	磐城高校は多くの生徒が部活動に参加し、全国大会に出場することを目指して熱心に活動し実績をあげている。
6	生徒	◎	◎	私は高校生として好感が持てる服装や挨拶を心がけている。
	保護者	◎	◎	子どもは高校生として好感が持てる服装や挨拶を心がけている。
	教員	◎	◎	生徒は高校生として好感が持てる服装や挨拶を心がけている。
7	生徒	○	○	磐城高校は欠席や遅刻などをしないようにきめ細やかに指導している。
	保護者	◎	◎	磐城高校は欠席や遅刻などをしないようにきめ細やかに指導している。
	教員	◎	◎	磐城高校は欠席や遅刻などをしないようにきめ細やかに指導している。
8	生徒	◎	◎	磐城高校は交通事故や特別指導を起こさないように普段から積極的に指導を行っている。
	保護者	◎	◎	磐城高校は交通事故や特別指導を起こさないように普段から積極的に指導を行っている。
	教員	◎	◎	磐城高校は交通事故や特別指導を起こさないように普段から積極的に指導を行っている。
9	生徒	◎	◎	私は自ら進んで清掃活動や身の周りの整理整頓をし、清潔な環境作りに努めている。
	保護者	◎	○	子どもは自ら進んで清掃活動や身の周りの整理整頓をし、清潔な環境作りに努めている。
	教員	○	○	生徒は自ら進んで清掃活動や身の周りの整理整頓をし、清潔な環境作りに努めている。
10	生徒			私は読書の時間を確保し、自分の知的財産を増やし、心を豊かにしようとしている。
	保護者		○	子どもは読書の時間を確保し、自分の知的財産を増やし、心を豊かにしようとしている。
	教員			生徒は読書の時間を確保し、自分の知的財産を増やし、心を豊かにしようとしている。
11	生徒	◎	◎	広報誌「秀峰」やホームページによって、学校の情報を知ることができる。
	保護者	◎	◎	広報誌「秀峰」やホームページによって、学校の情報を知ることができる。
	教員	◎	◎	広報誌「秀峰」やホームページによって、学校の情報を知ることができる。

令和元年度学校評価アンケート共通項目結果(中間)

No	対象	評価内容	昨年度						今年度						変化
			4	3	4+3	2	1	0	4	3	4+3	2	1	0	
1	生徒	磐城高校は生徒が自ら学ぶ意欲を高めるための工夫をしている。	32%	44%	76%	15%	5%	4%	39%	42%	81%	12%	4%	3%	↑
	保護者	磐城高校は生徒が自ら学ぶ意欲を高めるための工夫をしている。	53%	29%	82%	12%	1%	5%	50%	31%	81%	8%	3%	7%	
	教員	磐城高校は生徒が自ら学ぶ意欲を高めるための工夫をしている。	45%	42%	87%	13%	0%	0%	48%	44%	92%	8%	0%	0%	
2	生徒	私は学習と部活動に割かれる時間のバランスがよく、充実した生活を送っている。	21%	31%	51%	33%	13%	3%	20%	34%	54%	30%	13%	3%	↓
	保護者	子どもは学習と部活動に割かれる時間のバランスがよく、充実した生活を送っている。	35%	29%	64%	30%	4%	2%	29%	31%	59%	31%	9%	1%	
	教員	生徒は学習と部活動に割かれる時間のバランスがよく、充実した生活を送っている。	14%	45%	59%	31%	7%	0%	15%	44%	60%	33%	8%	0%	
3	生徒	私は講義室の土日開放を積極的に活用することで学習時間が増えている。	7%	8%	16%	16%	60%	8%	7%	11%	17%	17%	59%	7%	↑
	保護者	子どもは講義室の土日開放を積極的に活用することで学習時間が増えている。	12%	18%	30%	32%	29%	9%	13%	24%	37%	29%	27%	7%	
	教員	生徒は講義室の土日開放を積極的に活用することで学習時間が増えている。	9%	27%	36%	48%	5%	11%	4%	26%	30%	58%	12%	0%	
4	生徒	磐城高校は二者面談や三者面談等を通して進路相談や情報提供を適切に行っている。	34%	42%	76%	15%	2%	7%	36%	42%	78%	13%	3%	6%	↓
	保護者	磐城高校は二者面談や三者面談等を通して進路相談や情報提供を適切に行っている。	41%	35%	76%	14%	3%	8%	34%	36%	70%	15%	6%	8%	
	教員	磐城高校は二者面談や三者面談等を通して進路相談や情報提供を適切に行っている。	68%	25%	93%	4%	0%	2%	46%	52%	98%	2%	0%	0%	
5	生徒	磐城高校は多くの生徒が部活動に参加し、全国大会に出場することを目標として熱心に活動し実績をあげている。	65%	25%	90%	4%	3%	2%	65%	26%	90%	4%	3%	3%	↓
	保護者	磐城高校は多くの生徒が部活動に参加し、全国大会に出場することを目標として熱心に活動し実績をあげている。	74%	21%	95%	3%	1%	2%	59%	28%	87%	8%	2%	3%	
	教員	磐城高校は多くの生徒が部活動に参加し、全国大会に出場することを目標として熱心に活動し実績をあげている。	73%	20%	93%	5%	2%	0%	77%	23%	100%	0%	0%	0%	
6	生徒	私は高校生として好感が持てる服装や挨拶を心がけている。	47%	43%	89%	6%	2%	3%	55%	35%	90%	6%	2%	2%	↓
	保護者	子どもは高校生として好感が持てる服装や挨拶を心がけている。	74%	24%	97%	0%	2%	0%	78%	17%	95%	2%	2%	0%	
	教員	生徒は高校生として好感が持てる服装や挨拶を心がけている。	34%	55%	89%	11%	0%	0%	42%	48%	90%	10%	0%	0%	
7	生徒	磐城高校は欠席や遅刻などをしないようにきめ細やかに指導している。	20%	37%	56%	30%	9%	4%	21%	39%	60%	29%	9%	3%	↓
	保護者	磐城高校は欠席や遅刻などをしないようにきめ細やかに指導している。	43%	25%	68%	10%	2%	19%	37%	32%	68%	10%	3%	18%	
	教員	磐城高校は欠席や遅刻などをしないようにきめ細やかに指導している。	29%	48%	77%	14%	7%	2%	25%	46%	71%	23%	6%	0%	
8	生徒	磐城高校は交通事故や特別指導を起こさないように普段から積極的に指導を行っている。	56%	35%	91%	6%	2%	2%	37%	40%	77%	17%	5%	1%	↓
	保護者	磐城高校は交通事故や特別指導を起こさないように普段から積極的に指導を行っている。	47%	30%	76%	6%	1%	16%	50%	30%	80%	8%	2%	10%	
	教員	磐城高校は交通事故や特別指導を起こさないように普段から積極的に指導を行っている。	63%	29%	91%	5%	2%	2%	40%	38%	79%	21%	0%	0%	
9	生徒	私は自ら進んで清掃活動や身の周りの整理整頓をし、清潔な環境作りに努めている。	31%	46%	77%	18%	3%	1%	38%	44%	82%	14%	3%	1%	↑
	保護者	子どもは自ら進んで清掃活動や身の周りの整理整頓をし、清潔な環境作りに努めている。	27%	39%	66%	23%	3%	8%	18%	39%	57%	28%	14%	9%	
	教員	生徒は自ら進んで清掃活動や身の周りの整理整頓をし、清潔な環境作りに努めている。	9%	45%	54%	43%	4%	0%	10%	54%	63%	31%	6%	0%	
10	生徒	私は読書の時間を確保し、自分の知的財産を増やし、心を豊かにしようとしている。	14%	22%	36%	28%	35%	1%	17%	23%	40%	30%	29%	1%	↑
	保護者	子どもは読書の時間を確保し、自分の知的財産を増やし、心を豊かにしようとしている。	15%	28%	43%	38%	15%	4%	16%	31%	48%	36%	14%	3%	
	教員	生徒は読書の時間を確保し、自分の知的財産を増やし、心を豊かにしようとしている。	2%	34%	36%	46%	16%	2%	0%	33%	33%	50%	17%	0%	
11	生徒	広報誌「秀峰」やホームページによって、学校の情報を知ることができる。	29%	41%	70%	16%	7%	8%	29%	40%	68%	16%	9%	7%	↓
	保護者	広報誌「秀峰」やホームページによって、学校の情報を知ることができる。	54%	34%	88%	8%	2%	3%	39%	41%	80%	14%	4%	2%	
	教員	広報誌「秀峰」やホームページによって、学校の情報を知ることができる。	50%	46%	96%	2%	2%	0%	37%	48%	85%	13%	0%	2%	

評価 4 そう思う 3 少しそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない 0 分からない
 変化 昨年度から今年度へ肯定的な意見(4+3)が5%以上上昇↑ 5%以上下降↓

令和元年度 学校評価アンケート対象別結果(中間)

対象	No	評価内容		①	②	③	④	⑤	⑥
生徒	12	自分の生活で中心は ①学習(授業とその予習や復習) ②学習(自主教材等) ③学習(塾講義) ④部活動 ⑤その他の活動 ⑥なし である。 ※1つだけ選ぶ	昨年度	35%	12%	9%	35%	5%	4%
			今年度	45%	11%	8%	29%	4%	3%

対象	No	評価内容	昨年度						今年度						変化
			4	3	4+3	2	1	0	4	3	4+3	2	1	0	
生徒	13	磐城高校の授業は目標がはっきりと示され、授業の内容を深く考えることができる。	22%	47%	69%	22%	5%	4%	27%	48%	75%	17%	5%	2%	↑
	14	私は学力向上のために家庭学習時間を確保し、十分努力している。	15%	37%	52%	34%	13%	1%	18%	39%	57%	31%	11%	2%	↑
	15	生徒は他校生と交わり交流をはかることで視野を広げることができている。	13%	23%	36%	31%	25%	8%	13%	26%	39%	28%	26%	7%	

対象	No	評価内容	昨年度						今年度						変化
			4	3	4+3	2	1	0	4	3	4+3	2	1	0	
保護者	12	子どもは学力向上のために家庭学習時間を確保し、十分努力している。	38%	32%	69%	19%	12%	0%	30%	38%	68%	22%	9%	0%	
	13	子どもは自分の進むべきビジョンを持ち、充実した生活を送っている。	38%	40%	78%	15%	7%	0%	37%	39%	77%	16%	4%	3%	
	14	磐城高校は様々な教育活動を通して生徒の豊かな人間性を育て、また生徒の健康増進にも取り組んでいる。	43%	40%	83%	10%	1%	6%	32%	46%	77%	10%	2%	10%	↓
	15	磐城高校は保護者が教育活動に積極的に関わられる環境が整っている。	32%	39%	71%	17%	2%	9%	28%	40%	68%	18%	4%	10%	

対象	No	評価内容	昨年度						今年度						変化
			4	3	4+3	2	1	0	4	3	4+3	2	1	0	
教員	12	磐城高校は教科指導力向上のための取り組みが充実している。	51%	40%	91%	9%	0%	0%	48%	46%	94%	6%	0%	0%	
	13	磐城高校の授業は目標がはっきりと示され、授業の内容を深く考えることができる。	43%	46%	89%	11%	0%	0%	33%	60%	92%	0%	0%	0%	
	14	磐城高校は保護者が教育活動に積極的に関わられる環境が整っている。	39%	45%	84%	14%	0%	2%	31%	53%	84%	16%	0%	0%	
	15	磐城高校は服務倫理意識を高く保つための取り組みが充実している。	57%	36%	93%	5%	2%	0%	50%	48%	98%	2%	0%	0%	↑

評価 4 そう思う 3 少しそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない 0 分からない
 変化 昨年度から今年度へ肯定的な意見(4+3)が5%以上上昇↑ 5%以上下降↓

1. 本校の良い点・特色について下の欄にお書きください。

〈学習について〉

- ・わからないところや、悩んでいることなど、いつでも相談できる先生がいるところ。（複数）
- ・土曜課外や各種模試対策の課外を熱心に行っている点。（複数）
- ・学習環境が整っている。
- ・休日の学校開放。
- ・学力向上の意識付けを常に行っている点。
- ・否が応でも学習をせざるを得ない環境づくり。
- ・予習復習をやらせている点。
- ・生徒達が勉強に高い意識を持ち、友人同士で教え合うなど、切磋琢磨している様子がとても良いと思う。

〈進路指導について〉

- ・進路講演会の実施。外部の講師の方々のお話はリアリティーがあり、参考になる。（複数）
- ・進学のための課外授業、大学訪問を受けられる。（複数）
- ・進学するための環境が整っている。（複数）
- ・各教科の課題が受験対策に繋がっている点が良い。国公立大学の合格率の更なる up を期待している。
- ・大学進学に向けて、個々に指導している点。
- ・教員が熱心に授業をしており、大学受験に対応できるようにしてくれている。
- ・引き続き、学校全体で生徒の進路実現の為に適切な指導をしていただきたい。
- ・伝統を重んじながらも、生徒達にたくさんの活きた情報を提供し、新しい時代に対応すべく教育に取り組んでいる点。

〈生徒指導〉

- ・生徒の服装がきちんとしている。（複数）
- ・生徒たちが品行方正で、穏やかな感じの生徒が多いと感じた。
- ・真面目な生徒が多く、先生に言われたことは守ること。
- ・部活動の大会等で後援会から費用を援助して頂き、とても感謝している。
- ・勉強だけでなく生活面においても熱心に指導してくださっている点。
- ・部活をしていても学習に力を入れるよう働きかけている点。
- ・男女、上下の生徒間の仲が良く充実した学校生活を過ごせている。各自が自分に自信を持ち、他者と認め合う余裕があると感じる。
- ・生徒と教員との関係がとても良いと感じる。
- ・文化祭や球技大会などの行事に取り組む姿勢に好感をもつ。
- ・先生方が勉強はもちろん、部活動や進路の事など、親身な点。卒業生の方々が母校への愛情を強く持っていて、部活動においても、指導を賜ることがあるので、娘もこういった良いところを引き継いでいこうとおもっているようだ。

〈その他〉

- ・長い歴史があって幅広い人材を輩出している点（複数）
- ・校長はじめ教員が県内のトップ校を意識し、磐城高校の学力向上のため努力している。（複数）
- ・校長先生が、ほぼ毎日更新してくださる校長便りによって、学校の様子をよく知ることができ。時に感動的な内容で、楽しみに拝読しています。（複数）
- ・入学式での「磐城高校は人間形成の場所です。」という言葉をきいて安心した。
- ・良い伝統を感じ取ることができるのは、生徒にとって励みになる。
- ・保健室での対応が親切である。
- ・養護教諭が2名在中しているため、多くの生徒が助けられていると思う。
- ・学校、保護者（PTA）が、生徒の学力向上のため協力しているところ。
- ・福島SIHへの参加。
- ・県内において、学力上位校として、特別なテーマを与えられ、それに対して校内外での活動を課せられることで、他校ではなかなかできない貴重な経験を得ていることが良いと思う。ただし、天候や学校の都合で、そういった活動が中途半端に終わらないように期待したい。

2. 学校教育をより良いものにするために、こうすれば良いというご意見があれば、下の欄にお書きください。

〈学習について〉

- ・宿題（課題）を減らして、自主性を伸ばした方がいいと思う。（複数）
- ・復習、弱点克服ができるような機会を増やしてほしい。（複数）
- ・講義室の開放日を増やしてほしい。（複数）
- ・土日の講義室開放や勉強会などしてくれてはいるが、部活動が忙しくほとんど参加できない。時間に余裕がある生徒との差が広がっていくように感じるため、勉強時間の確保ができるよう改善してほしい。（複数）
- ・課題が妨げとなり、自発的な学習時間が確保できない現状（睡眠は大事だと言い、文武両道を掲げているが故、隙間時間に限界がある）。効果の期待できない課題はやめるべきではないか。
- ・他教科とのバランスを考慮したうえで課題を設定するようにしてほしい。
- ・学力別の課外授業を行ってほしい。
- ・少人数クラスで勉強ができるといいのではないか。
- ・授業内容でわからなかった点を質問できる時間を確保してほしい。質問する生徒が多くあきらめてしまうらしい。
- ・校外テストの振り返りをできていないようなので、対策や振り返りを課題などで出してほしい。
- ・近年、全国レベルに対して学力に差が出ているように思われるので、学力の底上げが必要なのではないか。
- ・高校入試も改革されるなか、今のままでは取り残されていくのではないか。
- ・学力テストや模試の結果は早く返却してほしい。
- ・フォープロセス（数学）の解答を印刷せず配ってほしい。読みづらく、紙の無駄。わからないままの時間に、くり返し学習したい。
- ・文武両道と聞くと、実際はどちらも中途半端になっているのではないか。
- ・磐城高校は部活動の過去の栄光はOB諸兄の叱咤激励を意識しすぎる傾向が強すぎる。時代は変わり高校入試も改革されるなか、今のままでは取り残されていくのではないか。

〈進路指導について〉

- ・部活で公欠になった時の授業を補習などで補ってほしい。（複数）
- ・PTA懇談会の回数を増やし、情報交換の場を作っていただきたい。（複数）
- ・大学見学や企業見学などの経験を通して、視野を広げほしい。
- ・進学校らしく（首都圏の進学校のような）受験を意識したカリキュラム作りをしてほしい。
- ・合格実績を上げるためにも、もう少し勉強する時間を与えてほしい。
- ・資格取得や新入試に向けた準備などについてより詳しく周知してほしい。保護者としてのサポートがしやすくなるので今後検討してほしい。
- ・進学校として、中高一貫校にも対抗できるよう、カリキュラムを見直す等の取り組みをして頂きたい。新大学入学共通テストの情報を積極的に集めて教えて頂きたい。
- ・英語の四技能というのが今後の受験において、磐高の生徒には不利だと思う。もっと積極的に対策に取り組んでいただきたい。ハイレベル課外の日程について、TEAPの受験日（東京など）とかぶっている。これについて困らない生徒がたくさんいる状況がむしろ危機的だと思う。難関大（私立）を受験することを視野に入れている生徒であれば、GTECよりTEAPの方が有利。受験した分チャンスも増えるというシステムを理解されていない先生が多いことも危機感を感じる。進研模試のデータを信頼して進路指導されている先生がほとんどのようだが、偏差値などの水準が甘めな評価になりがちだと思う。もっとシビアに偏差値などを見ていただきたい。
- ・日本で今まであまり積極的に教わることがなかった多様性について、子ども達に教えて欲しい。共存するための考え方についても話し合っほしい。
- ・将来の目標が定まっていない生徒の学習の仕方など、大学に進学してから決めてもいいような指導をしてほしい。
- ・入試制度が変更されるので、早めの情報提供および授業での対策の実施をお願いしたい。
- ・進路状況のデータの更新を早くしてほしい。（出来れば、推薦入試の結果・後期入試の結果それぞれが出揃う時期の2回。）
- ・担任、学年関係なく、教職員全員（特に進路相談など）が生徒の相談にのるなどの、気軽に話せるような場があれば良いと思う。
- ・二者面談、三者面談の回数を増やしてほしい。
- ・上位者だけでなく、下位生徒への対応を手厚くしてほしい。
- ・進路相談などもう少し先生と話す機会があればよいと思う。
- ・模試の結果や生徒個人の特性をふまえて進学先のアドバイスをいただきたい。
- ・関東指向から脱却し、様々な地域にある国公立大学に目を向けることができるようになれば、他地域のトップ校に引けを取らない結果を得ることができるのではないか。

・河合塾の講師(渡辺先生)のセミナーを拝聴させていただいたが、このような機会が定期的に年に数回あればいいと思う。大学に関する学校からのタイムリーな情報がそろっていただけるとさらによくなるのではないかな。

〈生徒指導〉

- ・部活動に参加している生徒も土曜日の課外授業に参加できるような配慮をしてほしい。(複数)
- ・部活動と学習のバランスを考えてほしい。(複数)
- ・生徒の人的成長を期待したい。(複数)
- ・部活動でスケジュール表をいただきたい。
- ・部活動のガイドラインを遵守してほしい。
- ・生徒の服装など細かい面での指導は最小限にし、生徒の自主性を重んじた指導にすべきと考えます。
- ・保護者向けの講演会や例えば体育祭等、普段の生徒の姿を見られるような機会を設けて頂けると、もっと子ども達をより理解できることにつながると思うので、もう少し参観の機会を増やしたりして開かれた学校にしていくと良いのではないかな。
- ・進学率や難関大学への合格者数を売りにするのであれば、学習塾と同じである。主役はあくまで子ども達。子ども達が行きたくくなるような特色を持った学校になっていくべき。
- ・余計なトラブルやストレスを回避するためにも生徒、教員ともに倫理を十分学ばせてほしい。
- ・生徒に対し、自ら考える意識付けや習慣をつけさせる指導、発言や発表する力をつけるトレーニングや機会を作る。
- ・他校は、来訪者に大きな声で明るく挨拶ができる。勉強ができて挨拶のできない社会人は通用しない。
- ・生徒の活気がないように感じる、もう少し人間的に強くなれるよう、モチベーションを上げられる環境が望ましいと思う。
- ・社会に出るための経験に乏しいので、いろいろ経験をさせてほしい。
- ・学校が勉強だけでなく、様々な経験を積める場であってほしい。
- ・昨年からの登下校時の歩きスマホを危険なので、指導してほしい。
- ・スマホ等の使用時間について生徒に考えさせ、限られた時間を有効に活用できるように改善できないかな。
- ・送迎について事前の指導があったのが良いと思う。自分の足で磐高までの長い坂道を毎日登下校し、自立・体力・忍耐力もついていくと思う。
- ・車の乗り入れを可能にして欲しい。
- ・夏服着用期間も自分の体調に合わせ、カーディガンやベストを着用できるほうが良いのではないかな。(各自用意でも学校指定でも構わない)

〈その他〉

- ・生徒の健康のため、一年に何回か、エアコンの清掃をしていただきたい。
- ・保護者が関われる学校生活(奉仕作業)があっても良いと思う。
- ・家庭(保護者)の協力が必要不可欠だと思う。協力してもらおう為には、学校での出来事を知ってもらう必要があると思う。メールを活用して欲しいと思う。
- ・かつては、独自カラーがもっと強くあったと思うが、近年はそういう感じがなくなりつつある。教師は生徒との関わりが、希薄化している。
- ・親子でコミュニケーションがとれている家庭は良いかもしれないが、高校生になって学校で何をしているのか、根掘り葉掘り聞くのもなあと感じてしまう部分もある。現状、全て学校と本人に任せっきりのため、親として学校の取り組み、方針をわかりやすく発信して頂けると助かります。
- ・校長便りを楽しみに拝見していますが、周りでご存じない方もいるのが少し残念です。
- ・生徒の考え思いを理解し、学校として対応策を考え実施してほしい。
- ・学校としてのすべての情報は生徒だけではなく、保護者に伝わるようにしてほしい。
- ・式などの改まった場ではなく、校長先生と直に話を伺ってみたい。
- ・ホームページでの校長便りは充実しているが、生徒達の日々の活動報告が少ない。
- ・男子生徒の夏Yシャツの価格をもう少し安くして欲しい。もしくは、夏もアイロンシールを用いても良いということにして欲しい。夏こそ替えが多く欲しいのに、金額が高くなかなか買えない。清潔な服装を心がけたいが、代謝が活発な子供の汚れはなかなか落ちずに苦労している。教育とは違うかと思うが、お願いしたい。
- ・学内に設置している自販機の飲料水は人工甘味料を多く含んでいるため、体への影響も少なからずあるはず。設置しているからにはその弊害についても生徒に知らせてほしい。

3. このアンケートについて、お気づきのことがあれば次の欄にお書きください。

- ・無記名とのことだが、少人数で、クラス No のある封筒の必要性はあるのか。(複数)
- ・入学して間もないため、子供から聞く話も少なく解答が難しい。(複数)
- ・マークシートがわかりにくい。(複数)
- ・アンケートは学校をよくしていくために必要だと思う。今後も継続し、内容を公表してほしい。
- ・7と9の質問は、小中学生ではあるまいし、高校で指導が必要なのだろうか、疑問に感じる。
- ・マークシートの印刷の番号が多すぎるので、戸惑ってしまった。
- ・入学して2ヶ月では、学校の教育活動がどのようなものかわからないのが現状。
- ・保護者も意見を熟考できるため、とても良い方法だと思う。(懇談等では、自分の意見を言えないことも多々あるため。) 先生方の熱心なご指導に感謝している。
- ・入学して3ヶ月しかたっておらず、回答しづらい内容がある。1年用、2年用、3年用と分けることはできないか。又は、1月や2月に実施するなど、工夫してほしい。
- ・無記名ではあるが、回収用封筒には、学年、クラス、出席番号が書かれており、提出者の特定も可能。さらに全員提出もほぼ強制的。完全フリーにして、回収率も利用することで、父兄の学校への期待度合もわかると思われる。同じアンケート内容であっても、運用方法を変えることで利用価値を高めることも可能ではないか。
- ・実質、評価が4段階であり、回答しづらい。「普通」「標準」のような項目を入れ、5段階とした方がなじむのでは。アンケート結果がどのように活用されているのか、フォローがない。
- ・毎年アンケートがあるが、これによって学校が変化したという実感はない。ここに意見を書いて学校が良くなっていくのか疑問である。
- ・保護者の思いや願望を聞いて下さり、いっしょにより環境を作っていこうと努力されている学校と先生方に感謝している。これからもコミュニケーションを大切に髻高生の明るい未来のために協力していきたい。
- ・質問内容を見て学校での要図を(どういう指導環境がなされているか) 親である私が認識していないということがわかった。もう少し学校からの情報をもう少し増やして頂きたい。
- ・我が子は高校生活が充実しているようです。ありがとうございます。保護者として学校にもっと関心をもたなくてはと思いました。
- ・家庭と学校の情報共有がとても大切かと思えます。担任の先生から、もう少しクラスの様子や情報があるとうれしいです。お忙しい中とは思いますが、クラス便りのようなものが、年2・3回くらいあったらいいなと思えます。
- ・学校生活の細かいところまで情報がわからないので、子供の様子などから見ての意見しかできないのが残念です。